

みんなを支える 冬の暮らし

人口100万人以上の大都市の中でも、世界有数の降雪量がある札幌。白くきらきら輝く雪は、雪まつりやウィンタースポーツなど、冬ならではの楽しみを与えてくれる一方、暮らしに課題をもたらすものでもあります。この特集では、市や地域、学生が行っている雪への取り組みを紹介しながら、冬をより安心して過ごすために私たちにできることを考えます。この特集に関する問い合わせは、雪対策室計画課 ☎211-2682

わたしと
一緒に
見ていこう！



ゆきだるマン

雪と上手に付き合いながら暮らしていくことを提案する「ゆきだるマンプロジェクト」のキャラクター

みんなの力で冬を快適に

札幌の降雪量はひと冬で約6m。そんな雪のまちに住んでいる私たちは、雪と上手に付き合いながら暮らしていく必要があります。

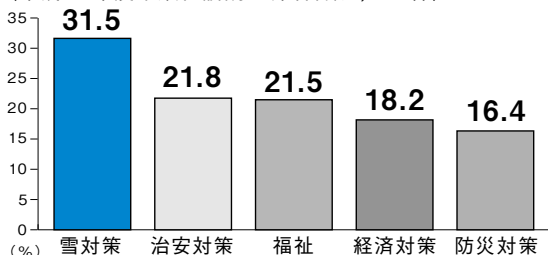
しかし、市政世論調査で、市に力を入れてほしい施策の第1位は雪対策。意見や要望も多く寄せられており、市が抱える課題の一つになっています。

市では、除雪・排雪を中心にさまざまな取り組みを行っていますが、予算や人員には限りがあり、全ての声に応えることは困難です。

そこで必要なのは、193万人の市民の皆さんの力。冬の暮らしをより安心なものにしていくために、みんなで協力して取り組むことが大切です。

市に力を入れてほしい施策は？

(平成24年度市政世論調査、回答数1,228件)



雪対策に力を入れてほしいと回答した市民は31.5%。中でも、家の前などの生活道路の除雪に対する要望が多く寄せられました。